

ジャパンリビルト

ジャパンリビルト(田中克典社長、堺市南区)は、整備現場における作業コストの削減と即納体制の強化により、車両在庫期間の短縮ニーズに対応するとともに、顧客の要望に応じた製品ラインアップの拡充を進めている。今回、足回りおよびディーゼルエンジン関連を中心に、「フロント(F) ナックルハブ」「アドブルータンク」「アッパーアーム」の供給を開始した。

新製品をラインアップに追加

車まで幅広く展開する。商用車向けでは、従来から供給するトランスミッションをはじめ、触媒、ステアリング関連に加え、新たにアドブルータンクやアッパーアームをラインアップに追加。商用車は部品待ちによる稼働停止が事業損失に直結するため、即納体制を整備し、コスト低減と早



期復旧の両立を図る。同社では、いずれの製品についても機能部品の全数検査を徹底し、安定した品質を確保している。

即納体制の下、ラインアップを拡充し、品質と供給力の向上を通じて持続可能なモビリティ社会に貢献していきたい」と話す。今後も同社は、現場ニーズと環境価値の両立を軸に、環境負荷低減に寄与する製品の研究・開発を進めていく方針だ。

田中社長は「リビルトはコストメリットだけでなく、世界共通目標であるSDGsの観点からも環境価値を持つ製品だ。